

企業に求める 産学連携ニーズ 発表会



オンライン

視聴無料

2025年度 補助金情報



北海道内の**研究者と企業**の産学連携による新規事業の創出を目指したイベントをオンラインで実施いたします。

研究の社会実装に向けては、事業化や製品化を目指す過程で**企業が必要になる場面**があります。本イベントでは、4名の研究者が**企業に求める産学連携ニーズ**を発表し、後日、**情報交換・マッチングの機会を提供**いたします。

ぜひこの機会をご活用ください。

試作したい

汎用的な
製品にしたい

AIで解析
したい

ソフトウェア
を開発したい

日時：2025年**3月18日**（火） **17：00～18：15**

申込先：<https://forms.gle/DjXifENDeA5n7vae6>

申込期限：2025年3月14日（金）

主催： **SAPPORO** **NOASTEC**

協力： **B** SAPPORO
BI LAB



【問い合わせ先】

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

研究開発支援部 梶原・小原

011-708-6392 kenkyu@noastec.jp

企業に求める産学連携ニーズ

プラスチックの生分解を加速する酵素用スーパー粘着剤

北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授／小野田 晃 氏

プラスチックのリサイクルや生物由来資源の利用において、生分解の向上が求められています。酵素用スーパー粘着剤を利用する本技術によって、酵素を用いたPETなどのプラスチックなどの生分解プロセスの分解速度を15倍程度に向上可能です。プラスチックの再利用や、生物由来資源の有効利用を手掛ける企業との共同研究や技術提携を希望します。

グリーンプロセスによる糖質系バイオマスからの 化学品原料の製造

北海道立総合研究機構 工業試験場 新技術創生研究推進室 研究主任／森 武士 氏

温室効果ガスの削減等の社会問題を背景に、樹木等のバイオマスに含まれるセルロース等の糖質系バイオマスから、プラスチック原料等の化学品原料を作る技術が注目されています。私達は、こうした技術の一つとして、粉碎と水を利用した新しいグリーンプロセスを開発しており、本発表ではその基本原理や応用例をご紹介します。樹木のみならず様々なバイオマスや廃棄物にも適用できることが分かっています。こうした製品開発にご興味ありましたらお声掛けいただけますと幸いです。

現場での作業効率化に向けた写真を用いた 機械学習システムの活用

北海道大学化学反応創成研究拠点(ICReDD) 特任助教／井手 雄紀 氏

我々のグループでは写真データを使った機械学習により、2種類の混合物(例えば、砂糖と塩)の混合比を即座に予測評価することが可能なシステムの開発に成功している。このシステムは、人間の眼では判断が困難な化成品(色素材料など)の品質管理や調剤薬局における調剤ミス防止監査などへの利用が期待されている。DXを伴う業務効率化の向上を目指して、このシステムを活用した試作モデル開発を共に進めていただける企業を大募集いたします。

ワンストップ型サルコペニア自動診断システムの開発： 地域における早期診断・介入を促進する新たなアプローチ

札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座 講師／小山 雅之 氏

サルコペニア(SP)予防は高齢者の健康寿命延伸に必須であるが、SP診断には時間と労力を要する。本研究では、独自の歩行速度自動測定技術とアプリ入力を融合した「ワンストップ型自動診断システム」を開発し、握力・体組成・歩行速度の一括測定と即時診断を可能とする。研究期間内に開発から効果検証までを行い、将来的には健診や健康増進イベント等での活用により、地域レベルの予防啓発を図り、健康寿命延伸に寄与することが期待できる。